

JACA No.17 (2021)

バイオハザード対策用クラスⅡキャビネット  
現場検査マニュアル第2版

HEPA の補修限界について誤りがありました。  
下記の正誤表にてご確認をお願い致します。

(正)	(誤)
<p><b>3.2.3 手順</b></p> <p><b>3.2.3.1 走査試験が可能なキャビネット</b></p> <p>D) 補修は、シリコンシーラントで補修できる。補修箇所の最大径が30 mmを超えず、補修箇所の合計がフィルタ面積の<b>3%</b>を超えないこと。補修した後再度走査検査して補修完了を確認する。</p>	<p><b>3.2.3 手順</b></p> <p><b>3.2.3.1 走査試験が可能なキャビネット</b></p> <p>D) 補修は、シリコンシーラントで補修できる。補修箇所の最大径が30 mmを超えず、補修箇所の合計がフィルタ面積の<b>1%</b>を超えないこと。補修した後再度走査検査して補修完了を確認する。</p>

2024年1月31日

公益社団法人日本空気清浄協会 事務局  
バイオハザード対策専門委員会